

「定置漁業の持続的発展」の進捗状況

沿岸漁業振興課

○令和3年度末の進捗状況

定置漁業

- 漁村の維持・発展を図るため、県外の定置漁業経営体の誘致活動として、他県への進出実績がある県外経営体4社のうち、2社を現地訪問し、ヒアリングを実施。

【ヒアリング結果】

① A社

- 4道県9漁場で定置網を経営
- 既存漁場の多くが太平洋側であるが、日本海側の漁場にも興味を示す
- 参入に当たっては、漁場環境や補助事業活用の可否により判断

② B社

- 2県6漁場で定置網を経営
- 島根県は位置的に遠く、新たな漁場開拓先としては対象外

沿岸漁村集落の維持・活性化

- 県内の132の漁業集落の代表に対して、漁村の将来像、漁業の課題、必要な支援などを問うアンケートを実施し、109集落から回答を得た。

【調査結果】

- 漁村の維持・活性化に必要な対策としては、漁業の振興が必要との回答が最も多く、次いで若者の就業対策の充実・確保であった(図1)
- 漁業の振興として求める対策としては、魚価対策への要望が最も多く、次いで漁業の強化や漁港整備、新漁業の導入、新規就業者受入の順となった(図2)

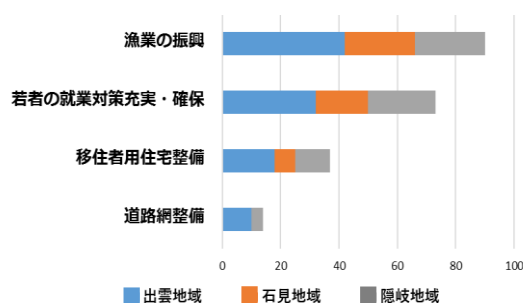


図1：漁村の維持・活性化に必要な対策

	全県(90)	出雲地域(42)	石見地域(24)	隠岐地域(24)
漁業の強化(拡充)	67	34	14	19
新漁業の導入	48	22	13	13
魚価対策	76	33	20	23
新規就業者受入	41	18	15	8
漁港(港湾)施設修繕・整備	51	26	14	11

図2：漁業の振興として求める対策

- 新漁業の導入については、初期投資等に多額の経費が必要な漁業の要望は少なく、一本釣り、いか釣り、採介藻、延縄などの比較的経費のかからない漁業の要望が多かった
- 出雲地域では、モズク、アカモク、キジハタ、アワビなどの養殖の要望有り